

橋梁更新妥当性確認シート

●事業の属性

評価者所属：道路建設課

事業名(細)	一般国道290号(高倉橋更新)				
箇所名	魚沼市高倉 地内				
実施主体	新潟県	実施方法	<input type="checkbox"/> 県単独 <input type="checkbox"/> 国庫補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他(防災・安全交付金)		
根拠法令	道路法	実施予定	平成26年度~平成30年度まで		
事業費	616百万円	財源	負担割合(国:60/100 県:40/100 市町村:-)		
上位計画等	北魚沼6か町村合併協議会建設計画				
環境への影響	環境影響評価法、新潟県環境影響評価条例における環境影響評価の対象外である。				

●事業の評価

評価項目					
(1) 既設橋梁更新の妥当性(橋りょう点検結果の状況等)					
橋梁架設年度	昭和27年(62年経過)	現在の橋長	43.9m	上部工形式	RC(T桁橋)
橋梁健全度	C3(平成22年12月点検)	設計荷重	TL-20	適用示方書	S24年コンクリート標準示方書
評価: 1つ以上の項目に該当が必要。					
橋梁健全度がC1(損傷があり機能低下が懸念される)以下であり、下記項目のいずれかに該当する橋梁である。					
■	一定の経過年数 ^{※1} を超えている橋梁		※1: 塩害で橋梁健全度がC3またはEの橋梁は50年 それ以外の橋梁は100年		
■	機能的陳腐化が認められる ^{※2} 橋梁		※2: 設計活荷重、耐震性能などを満たしていないもの		
(2) 道路ネットワーク上の必要性					
評価: 1つ以上の項目に該当が必要。					
■	橋梁が緊急輸送道路に指定されている。				
□	橋梁がないと県民が孤立する。				
□	都市計画道路に指定されている。				
□	市町村が定める防災計画に避難路、輸送路として位置づけられている。				
■	橋梁がないと救急、消防活動に与える影響がある。				
□	橋梁が通学路に指定されている区間に位置する。				
■	橋梁が公共公益施設にアクセスするうえで重要なルートに位置する。(対象施設: 魚沼市役所 県立小出病院)				
■	橋梁がバス路線に位置する。				
□	上記項目にいずれも該当しない場合は下記項目により総合的に判断し道路ネットワークの必要性を評価する。 ・橋梁がない場合の迂回する道路ネットワークの状況 () ・橋梁がない場合に周辺道路ネットワークに与える交通影響 () ・上記の交通影響に対する対策方法の有無とその実現性 () ・その他(道路ネットワークを維持するうえで特筆すべき事項があれば記載) ()				
(3) 更新計画の妥当性					
評価: ①、②の各項目に1つ以上該当が必要(※新たに歩道を設置しない場合は、①の項目のみ該当が必要)					
①設計計画					
■	下記項目に全て該当する。 ・車道幅員等は道路構造令(または新潟県道路の構造の技術的基準等を定める条例)に準拠した計画である。 (ただし、改良済の道路で車線数を増加させる場合は橋梁更新事業としない。) ・橋梁更新に伴う橋梁前後の取付道路が、安全性を考慮したうえで必要最小限となっている。 (ただし、橋梁前後の取付道路を整備しない場合は確認不要) ・橋梁更新として、位置および費用において合理的。				
②歩道設置(事業区間に歩道を設置する場合は記入する)					
■	既存の橋梁に既に歩道が整備されている。				
■	橋梁前後の道路が歩道整備されている。				
□	橋梁前後の道路が改良済(歩道未整備)の道路で、歩道整備の事業に着手する予定がある。				
□	通学路に指定されている区間であり、橋梁前後の道路で歩道整備の事業に着手する予定がある。				
□	上記項目にいずれも該当しない場合は、下記項目により総合的に判断し歩道設置の妥当性を評価する。 ・自動車交通量、歩行者交通量の状況、地域のニーズなど歩道設置の妥当性について特筆すべき事項があれば記載。 ()				
結果: 橋梁更新を行うことが妥当である。					

橋梁更新妥当性確認シート

●事業概要

事業名(細)	一般国道290号 (高倉橋)				
事業地点、区間等	魚沼市高倉地内	路線区間	起：村上市石原地内 終：魚沼市四日町地内	事業区間	自：魚沼市高倉地内 至：魚沼市高倉地内
諸元	計画延長 (m)	L=310m (うち橋梁L=40m)	計画幅員 (m)	W=6.0 (11.0) m	
事業工程	平成26～27年度：測量・用地補償 平成27～30年度：工事				

事業の背景、経過、概要など

1. 一般国道290号の位置づけ

一般国道290号は、村上市石原を起点として、魚沼市四日町に至る延長160.9kmの路線である。当該区間は、長岡市と魚沼市を結ぶ主要幹線道路であり、新潟県地域防災計画においても第2次緊急輸送道路に指定されている路線である。

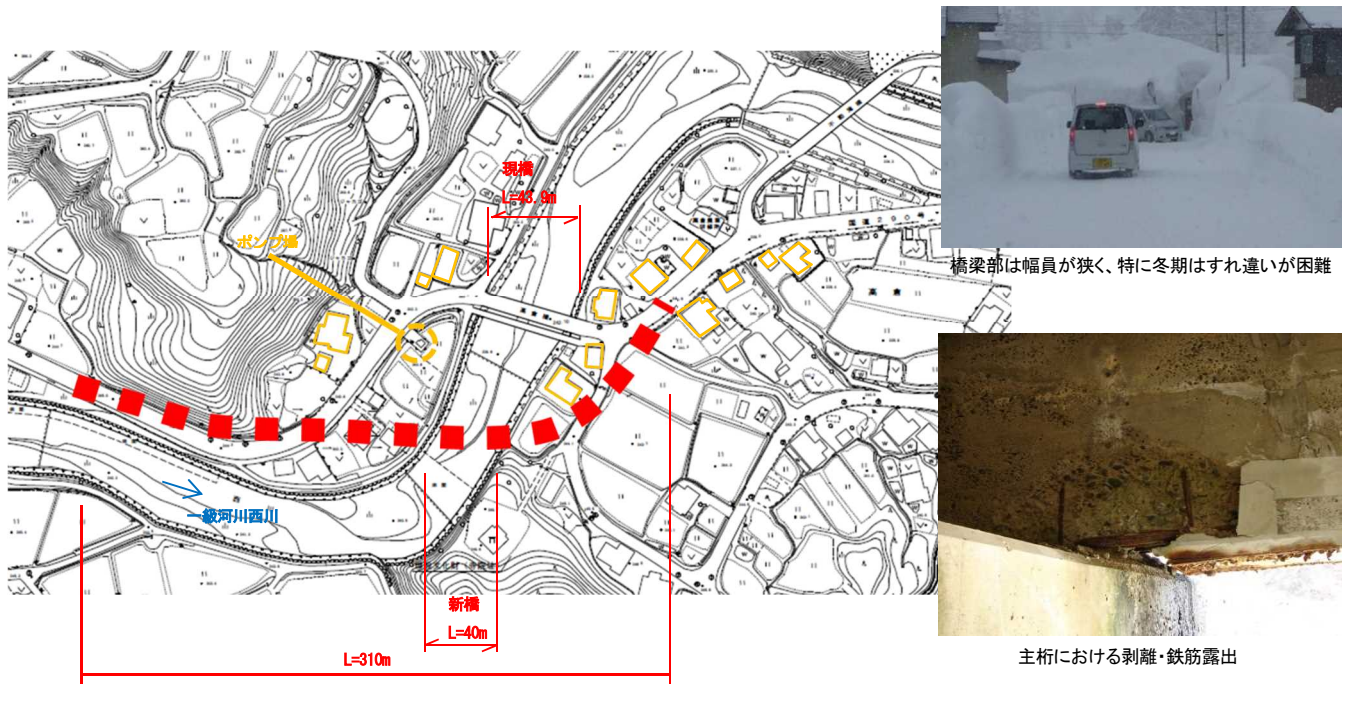
2. 現状の問題点・課題

- (1) 当該橋梁は、架設から62年が経過しており、コンクリート主桁に塩害が原因と思われる剥離、断面欠損、鉄筋露出などの損傷が確認されており、耐荷力の低下が懸念される。
- (2) 既設橋梁の前後区間は、2車線改良および歩道整備済みであるが、橋梁部のみ幅員が狭小で特に冬期間は車両のすれ違いが困難な状況となっている。
- (3) 橋梁取付部は小曲線が連続して道路法線が悪いため、交通事故も多発しており交通安全上問題がある。
(H17～H24の間に5件の事故)

3. 事業の効果

- (1) 今後増大する橋梁修繕や架け替え費用の平準化に寄与する。
- (2) 橋梁更新に伴い幅員の拡幅を行うことで、安全で円滑な交通を確保することができるとともに災害時や冬期の道路ネットワークの信頼性を高めることができる。
- (3) 架橋位置を上流に移すことにより仮橋が不要になるとともに、道路法線が一部改善される。

事業の概要図(ポンチ絵)※



計 画 図 等

現道	計画
<p>●現道交通量：1,971台/日 (H22 道路交通センサス) 幅員構成(単位：m)</p>	<p>○将来交通量(平成42年)：1,255台/日 幅員構成(単位：m)</p>

※A4サイズ大の用紙に、①事業箇所の位置がわかる図面(地形図ベース)と②計画内容が記載された図面(①より大縮尺のもの)を添付する事